

報道関係各位

武蔵野美術大学と大分県日出町が、 昨年度に続き、地域資源の活用に関する産官学プロジェクトを実施



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：長澤忠徳 以下、本学）と大分県日出町（町長：本田博文）は、昨年度に続き、地域資源の活用に関する産官学プロジェクトを実施します。

産官学プロジェクト概要

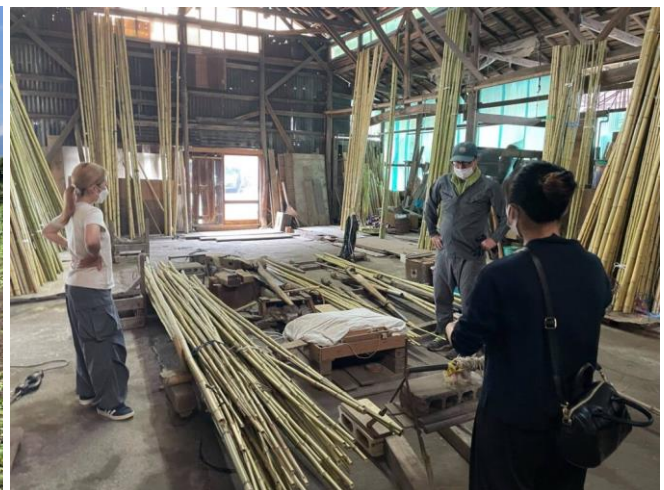
大分県日出町は、かつて九州と関西の交易港として栄えた街で、城下町の歴史ある風景と豊かな農林水産資源に恵まれた港町です。近年、第一次産業が衰退している中で、循環型社会のこれからに向けて、地元の産業従事者と産官学が、共同で、地域の美しい風景・暮らし・第一次産業・生業の再生と可視化をテーマに考えるプロジェクトです。

昨年度に続き、本学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科（CI 学科）および大学院造形構想研究科造形構想専攻クリエイティブリーダーシップコース（CL コース）の学生が大分県日出町で暮らしながら、本学流通のデザイン、生産から消費への物語の共有、メディアづくり等デザインの関与によって、地域の価値を再生するため、フィールドリサーチを通じた企画、提案を行います。

昨年度のプロジェクトの様子・概要

昨年度のプロジェクトの様子・概要は、以下リンク先で公開しています。

[クリエイティブイノベーション学科研究室サイト - 大分県日出町プロジェクト](#)



【本学学生が実践する社会課題解決】

CI 学科および CL コースは、美術・デザインを学ぶことで身につく力、創造的思考力を持って、社会の中で実践的に学ぶことを目的として、2019 年に開設いたしました。

CI 学科の学生は、入学後 2 年間、本学鷹の台キャンパスで美術・デザインの基礎、フィールドリサーチ、イノベーションに関する歴史的背景を学びます。3 年次からは、市ヶ谷キャンパスで、提携企業・自治体と社会課題解決型プロジェクトを共創していきます。

本プロジェクトを含め、企業や自治体等と連携し、持続可能な未来社会について、様々な分野の専門家と対話しながら、実社会における様々な問題に取り組んでいます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室

03-5206-5311 (電話) / 03-5261-3700 (FAX) / rcsc_staff@musabi.ac.jp